

記載例

小型船舶用泊地等使用許可(変更)申請書

令和 ○年 ○月 ○日

広島県西部建設事務所長 様

法人の場合

住所 呉市西中央○丁目○-○○  
氏名 株式会社 ○○  
代表取締役 呉市 太郎

申請者 住所 呉市西中央一丁目 3-25  
クレシ タロウ

氏名 呉氏 太郎

法人にあっては事務所の所在地、  
名称及び代表者の氏名

連絡先電話番号○○○-○○○○-○○○○

※連絡が可能な電話番号

次のとおり小型船舶用泊地等を使用したいので、許可してください。

1 使用する小型船舶用泊地等

地方港湾 ○○港 ○○○地区

※ 漁港名、地区名は、資料3  
「地区別実施計画」に記載があります。

2 係留等を行う船舶等

(1) 船舶

モーターボート (船舶番号 273-12345 広島・船舶の長さ 5.67 m)  
(汽船・ヨット等)

(2) 係留の用に供する工作物 (該当するものに○印)

ア 係船環 1 基

イ ロープ 2 本

ウ 防舷材 3 個

エ 通船 (長さ 2.10 m)

オ 栈橋 (長さ . m)

カ 渡橋 (長さ . m)

キ はしご 1 本

ク その他 ( )

許可日が入るので、空欄のままにしてください。

3 使用期間

令和 年 月 日から令和

○年3月31日まで

※ 最長、許可の年を含む  
5年度末まで

備考 1 小型船舶用泊地等とは、プレジャーボートの係留を許可することができるものと認めて知事が別に指定した水域及び当該水域へのプレジャーボートの係留の用に供する工作物を設置することとなる当該水域に接する岸壁、物揚場、防波堤その他の港湾施設及び漁港施設をいう。

2 「1 使用する小型船舶用泊地等」については、「地方港湾○○港○○地区(○市○○町地先)のうち、申請書添付書類中の位置図及び見取り図で示された小型船舶用泊地等の区域」の例により記載するものとする。

3 「2 係留等を行う船舶等」の記載事項のうち、「(1) 船舶」については「モーターボート(船舶番号○○○-○○○○○広島・船舶の長さ○○.○○m)」の例により、「(2) 係留の用に供する工作物」については「ア 係船環、イ ロープ、ウ 防舷材、エ 栈橋(長さ○○.○○m)、オ 渡橋(長さ○○.○○m)、カ はしご」の例により記載するものとする。